

平成27年度文化講演会
共修講座「かごしま学」公開講義

入場
無料

「続発する日本の水蒸気噴火。 そして桜島噴火を考える」

2014年には、口永良部島、御岳山が相次いで噴火し、霧島硫黄山、草津白根山（群馬県）、吾妻山（福島県）、十勝岳（北海道）などでは、水蒸気噴火の予兆がすでに表れ始めている。水蒸気噴火といえども、地下のマグマがその発生の根本原因である。

火山がそこにあることは、最終的にマグマ性の大規模な噴火があることを意味する。桜島は、マグマの蓄積量からみて、大規模噴火はそれほど遠くない時期に発生する段階にある。桜島の現在の活動と今後の大規模噴火について考える。

講師 井口 正人（いぐち まさと）

京都大学防災研究所火山活動研究センター教授・センター長

1958年 岡山県津山市生まれ。1981年 京都大学理学部卒業、同年京都大学助手に採用。准教授を経て、2012年より現職。火山爆発機構、火山噴火予知や防災を研究テーマとし、火山噴火予知連絡会委員等を務める。2014年から日本火山学会会長。また、地元の小中学生を対象とした桜島の学習にも尽力し、率先して人材育成に努める。桜島についての明解な解説はテレビや講演会でもおなじみ。口永良部島、諏訪之瀬島を含む鹿児島県内の火山活動に関する論文多数。共著『日本の火山性地震と微動』（京都大学学術出版会）、『自然災害と防災の事典』（丸善出版）、『火山爆発に迫る』（東京大学学術出版会）他多数。京都大学博士(理学)。



平成27年7月2日(木)14:50~16:20
鹿児島純心女子短期大学
大講義室 27号館6F

主催：鹿児島純心女子短期大学 主管：江角学びの交流センター・地域人間科学研究所

【問合わせ先】 〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号 TEL: 099-253-2677
鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター
(江角は本学創立者Sr.江角ヤスにちなんで名付けられました。)



〈交通アクセス〉